

# マイタウンガイド

## —有浦地区編—



▲第1回山田記念マラソンは大館駅前スタートでした(昭和28年)

今回ご案内する有浦地区は、大館の玄関口といえるJR大館駅を抱え、鉄道と共に発展を続けてきました。明治三十二年に大館町・釈迦内村境に大館駅が開設され、さらに駅前から田町へと新道が敷設されたことなどから、駅周辺には商店や旅館が建ち並び、新道沿いには新しい住宅が次々と建てられ、現在の大館の北部中心街の基礎が築かれました。

ニ  
ガイド

### 再建された忠犬ハチ公銅像

昭和初期に「大館」の名が全国に知れ渡った明るい話題の一つに、昭和九年四月二十一日、渋谷駅前忠犬ハチ公銅像の建立があります。ハチ公は「飼い主である東京帝国大学農学部教授上野英三郎博士の死去も知らず、毎日決まった時間に渋谷駅前にたたずんで主人の帰りを待ち続ける忠犬」として、昭和八年に文部省が募集していた小学校教科書資料にだれかが応募、それが「現存する人物や現在進行中の事件を避けること」とした規定があったにもかかわらず、例外として教科書に採用され、たちまち国民的アイドルとなりました。

昭和十年七月八日、大館のハチ公銅像除幕式が行われましたが、ハチ公は郷里での除幕を待たずに、十年三月その生命の幕を閉じました。除幕式には、上野博士未亡人や、ハチ公生前の渋谷駅長だった吉川新橋駅長などが参列。学童の参加もあって、参列者は千人にものぼったといわれています。しかし、ハチ公銅像は戦時中の金属回収令で渋谷大館とも撤収されました。戦後の二十三年八月、渋谷駅前にはハチ公銅像が再建されましたが、大館駅前への再建は実現せず、代わりに「秋田犬群像」が三十九年に建立されました。五十九年、ハチ公銅像再建の話が再び持ち上がり、市民の手で「忠犬ハチ公銅像再建の会」が組織され、昨年の十一月十四日、県内外の多くの人たちの浄財と郷土出身の彫刻家松田芳雄氏の手により、撤収から四十二年ぶりに古里大館の地によみがえりました。



▲再建されたハチ公銅像



▲撤収前のハチ公銅像 (写真提供—秋田犬保存会)